

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和7年3月11日(2025.3.11)

【国際公開番号】WO2022/210289

【出願番号】特願2023-511137(P2023-511137)

【国際特許分類】

C 0 9 D 1 7 5 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 D 1 7 5 / 0 8 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 D 7 / 6 5 (2 0 1 8 . 0 1)

C 0 9 D 1 8 3 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 D 1 3 3 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 G 1 8 / 7 7 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 G 1 8 / 7 8 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 G 1 8 / 7 9 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 G 1 8 / 4 0 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 9 D 1 7 5 / 0 4

C 0 9 D 1 7 5 / 0 8

C 0 9 D 7 / 6 5

C 0 9 D 1 8 3 / 0 4

C 0 9 D 1 3 3 / 0 0

C 0 8 G 1 8 / 7 7 0 1 0

C 0 8 G 1 8 / 7 8 0 3 7

C 0 8 G 1 8 / 7 9 0 1 0

C 0 8 G 1 8 / 4 0 0 6 3

20

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月3日(2025.3.3)

【手続補正1】

30

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

有機ポリイソシアネート(A)と、アクリルポリオール(B)と、を含み、
前記有機ポリイソシアネート(A)が、変性ポリイソシアネート(a)を含み、
前記変性ポリイソシアネート(a)が、ポリイソシアネート成分(a1)とポリオール成分(a2)との反応生成物又はその変性体であり、
前記ポリイソシアネート成分(a1)が、有機ジイソシアネート又はその変性体を含み

40

、
前記ポリオール成分(a2)が、数平均分子量200~750のポリテトラメチレングリコールを含み、

前記アクリルポリオール(B)が、ガラス転移温度が5~30であり、かつ、水酸基価が100mg KOH/gを超えて150mg KOH/g以下であるアクリルポリオール(b)を含む、塗料組成物。

【請求項2】

前記変性ポリイソシアネート(a)の平均官能基数が、4.0~6.0である、請求項1に記載の塗料組成物。

50

【請求項 3】

前記ポリイソシアネート成分 (a 1) が、脂肪族ジイソシアネート及び脂環族ジイソシアネートからなる群より選ばれる少なくとも 1 種を含む、請求項 1 又は 2 に記載の塗料組成物。

【請求項 4】

前記変性ポリイソシアネート (a) が、アロファネート変性ポリイソシアネートを含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の塗料組成物。

【請求項 5】

前記変性ポリイソシアネート (a) が、イソシアヌレート変性ポリイソシアネートを更

10

【請求項 6】

ポリジメチルシロキサン化合物を更を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の塗料組成物。

【請求項 7】

SiO_2 換算のケイ素含有量が、前記有機ポリイソシアネート (A) と前記アクリルポリオール (B) と前記ポリジメチルシロキサン化合物との合計量を基準として、 $0.001 \sim 0.1$ 質量%である、請求項 6 に記載の塗料組成物。

【請求項 8】

前記塗料組成物に含まれる水酸基含有化合物中の水酸基のモル数に対する、前記塗料組成物に含まれるイソシアネート基含有化合物中のイソシアネート基のモル数の比が、 $0.8 \sim 1.3$ である、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の塗料組成物。

20

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の塗料組成物を調製するためのキットであって、前記有機ポリイソシアネート (A) を含む第一剤と、前記アクリルポリオール (B) を含む第二剤と、を備える、キット。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の塗料組成物の硬化物を含む、塗膜。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の塗料組成物を被着体上に塗布し、硬化させることを備える、塗膜の形成方法。

30

40

50